



麻雀再開しました。絶賛面子募集中

SSKS



ほっと

「ほっとスペース八王子」ニュース

2016年9月号

154号

定価100円

CONTENTS

特集	第三者評価の結果について	…2頁
特集	第33回総会無事終了す	…5頁
京都前進友の会・やすらぎの里共同作業所訪問記		
	孫悟麴	…13頁
	韓国釜山研修旅行レポート続き	…16頁
	P. 6000	
	多摩総研修レポート2本	…18頁
	P. 6000	
	オリンピック招致と不正疑惑	…20頁
	安兵衛	
	選挙ダイジェスト	…20頁
	編集部	
	次号予告・編集後記	…20頁

Facebook
 発行 郵便振替
 EHF 振替
 P-I-A R L
 M-A R L
 A-I R L
 集 人
 編 集 人

〒192-0053 東京都八王子市八幡町一三二
 042-6228-2319 ぶくしまやビル二階「ほっとスペース八王子」(事務局:堀部 正)
 042-620-2786
<http://homepage2.nifty.com/hotspace/>
cxbo1672@nifty.ne.jp
 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷三二一七
 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷三二一七
 ヴェルドゥーラ祖師谷一〇二号室 障害者団体定期刊行物協会
<https://www.facebook.com/hachioji.hotspace>

第三者評価の結果公表

すでにホームページでご覧になった方もいらっしゃると思いますが、2015年度（平成27年度）第三者評価の結果を掲載します。今年（2016年）の1月から3月にかけて調査し、経営（運営）、サービス、職員や会員の意識的な部分、足りない点や今後の課題にいたるまで、仔細厳正なる調査の結果、かなりの高評価をいただけたのではないかと自負しております。

「ほっと」では、第三者評価結果概要版を掲載します。評価結果の各項目の詳細は、ホームページの第三者評価全体版をご参照ください。第三者評価のデータは、PDFファイルでダウンロードもできます。

ほっとスペース八王子は、今回の第三者評価の結果に満足するだけでなく、利用者を増やし、その各利用者ひとりのひとりに合ったサービスを提供するべく、努力してまいります所存です。

今後ともほっとスペース八王子をよろしく願います。

（編集部）

東京都福祉サービス第三者評価 評価結果

評価結果概要版

利用者調査と事業評価（組織マネジメント項目・サービス項目）の評価手法

平成27年度

就労継続支援B型

法人名称	特定非営利活動法人ほっとスペース八王子
事業所名称	ほっとスペース八王子
事業所所在地	東京都八王子市八幡町13番2 ふくしまやビル2階
事業所電話番号	042-628-2319

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1) 「精神病患者」に対する差別・偏見をなくす 2) 「精神病患者」の権利を守り擁護する 3) 「精神病患者」相互及び団体間の交流を行い、支援を広めるための活動を行う 4) 「精神病患者」自身に関わる法律等に対して、労働組合や市民団体と連帯した取り組みを行う 5) あらゆる差別をなくす団体との交流、連帯をする。社会問題へ関心を持ち積極的にかかわっていく

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

- 事業所運営は利用者主体であり、意見や感想を述べ合う中から持続可能な活動を続ける努力をしています**
 ほっとスペース八王子の利用者は運営に参加し、日常活動の計画、実行の主体である。毎年度の事業計画は事業所前身の作業所時より積み上げてきた活動を基本とし、利用者の満足度や意向を反映しながら今日の形を作ってきたものである。毎日の昼食会、利用者職員が参加してのやんわりトークや聞こう会、全体ミーティングにおいて意見を出し合う。各事業への担当者の関わり方や反省、利用者の達成感や満足度を共有しながら次回の実行につなげている。職員は助成金の獲得への努力をし、利用者負担を軽減しより高い成果を得る努力をしている。
- 利用者の権利擁護のため全力で取り組んでいます**
 当事業所は、「精神病患者」に対する差別、偏見をなくすこと、「精神病患者」の権利を擁護することを理念とする。利用者の生活上の権利侵害を見逃さず、役所等と交渉し解決することに力を注ぐ。24時間電話連絡を可能とし、利用者からの相談に応じ、緊急時の対応もする。また、全国各地の精神障害者に対する虐待、権利侵害について、現地に駆け付け集会に参加する等連帯行動を取る。障害者総合支援法、医療観察法、精神保健福祉法、病棟転換型居住施設など当事者の利害に直接関わる法制度について異議申し立ての行動をしている。
- 平日の食事は自立・自活生活への手ほどきとなり、仲間同士和やかに昼食をとっています**
 事業所では、訪問してきた仲間たちと交流を深め、さらに自立へと向けた生活体験の場として、食事を開いている。障害年金や生活保護費でやりくりする力を身につけることに繋がっており、現在は月曜から金曜日まで利用者と職員と一緒に昼食をとる。利用者は、買物、調理、配膳、後片付けを手伝い、みんなで和やかに食事をしている。ひとり暮らしや肥満気味の利用者にとって、1食でもバランスのとれた食事をとる機会になっている。月に1度の誕生会のバースデーケーキは仲間の手作り、利用者は心温まるメッセージで祝福される。

✓さらなる改善が望まれる点

- 理念の実現に向け、職員に期待する役割に応える人を育成する職員育成計画の策定が必要です**
 当事業所は職員の役割として「何事にも動じず、受け止め受け入れられる人。会員の気持ちを引き出し見つけプログラムに反映できる人」、また進取の精神に富み、人格を陶冶し「精神病患者」にしっかり向き合えること、社会の中で力を持ったもの（行政）と対峙できる人等がある。職員は業務や日常プログラムに参加し利用者理解を深める学びと実践の場としている。職員は行政主催の虐待防止研修の他、当事者主催の研修や利用者特性を理解共有する研修等に参加しているが、理念を生かす職員育成計画の策定が求められる。
- 業務マニュアルを整備し、業務の標準化を図ることが期待されます**
 当事業所では毎日の煩雑な業務に追われ、蓄積した資料や必要なマニュアル類の整備が後回しにされている現状がある。そのため施設長が「生きたマニュアル」といった状況で、職員は分からないことは全て施設長に聞いて行動している。職員自己評価では「もう少し組織としてシステム化されたノウハウがあればよい」「情報の共有具合がばらばらだ」等の意見が多数ある。必要なマニュアルを整備し業務に当たることで、職員間の情報共有がされ、業務の一定水準を確保することが期待される。
- 想定される状況を設定した防災訓練や衛生管理の取り組みを期待します**
 当事業所は、市街地幹線道路に面したビルの2階にあり、階段上の踊り場は狭く、内側からのドア開閉に注意が必要である。南北に開口部がある1フロアが事業所スペースで、平常時の出入り口は1か所である。ビルのエレベーターは緊急時のみ使用できる。実用的な自衛消防計画作成や、想定される状況を設定した防災訓練を定期的に行うことが必要である。また、食事提供もしているが衛生マニュアルはない。厨房の清掃や整理整頓、手拭きの個別化など衛生管理の取り組みを期待する。



利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数
8/16

4～17は選択式の質問のため、該当項目のみ掲載しています。

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用者は困ったときに支援を受けているか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
2. 事業所の設備は安心して使えるか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
3. 利用者同士の交流など、仲間との関わりは楽しいか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
12. 【就労継続支援B型】 事業所での活動が働くうえでの知識の習得や能力の向上に役立っているか	87.0% 12.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
13. 【就労継続支援B型】 工賃等の支払いのしくみは、わかりやすく説明されているか	62.0% 37.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
18. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	87.0% 12.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
19. 職員の接遇・態度は適切か	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
20. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
21. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
22. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
23. 利用者のプライバシーは守られているか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
24. 個別の計画作成時に、利用者の状況や要望を聞かれているか	87.0% 12.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
25. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	87.0% 12.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
26. 利用者の不満や要望は対応されているか	100.0% どちらともいえない:0.0% いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
27. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	12.0% 12.0% 75.0% 無回答・非該当:0.0%

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当



第6回（33回）総会

無事終了す

去る5月19日（火）ほっとスペース八王子内で、第6回（通算33回）ほっとスペース八王子総会が行われました。会は特にトラブルもなく無事に終了しました。総会終了後、ささやかなお茶会を開き、手作りのケーキで無事な総会終了を喜びました。

す。内容は総会で採用されたものを「ほっと」用に加工してありますが、内容の変更は一切いたしておりません。

「ほっと」では、第2号議案（活動総括）、第3号議案（2015年度決算表）、第5号議案（2016年度活動方針）、第6号議案（2016年度予算案）を掲載します。

第6回総会は、法内移行（障害者総合支援法）後6回目の総会となります。作業所立ち上げから通算すると33回めになります。（臨時総会を含む）

掲載する文書について。文書は、議案書となっておりますが、すべて総会で承認、議決されております。

第5号議案にありません。代表人事については、暫定的な代表として、孫悟麴含め2名の共同代表が選出されましたが、本格的な代表移行はまだちょっと先の事になるかもしれません。「ほっとスペース八王子」の今後をぜひ、お見守りください。

第2号議案

2015年度活動総括（案）

I. 情勢分析

年度が替わって早々に、消費税が8パーセントに引き上げられました。逆進性（所得の少ない者ほど税負担感が大きいことです）が強く、国民の生活に直撃、消費税10パーセントへの増税へは不透明なところへパナマ文書の暴露、それがどのくらいの影響力があるのか、注視するところです。2015年の国会に於いて、最大の焦点となったのは、安全保障に関する法制度の改正でした（戦争法云々や違憲かどうかの問題は議論になるので割愛します）。ただ、これによる福祉、社会保障への影響は大と言わざるを得ません。国民世論をして、「増税やむなし、社会保障は財政へのリスク」が当たり前のように言われていますが、まるで、誰かに吹き込まれたかのようです。平和と安全保障への危機感、中東シリアの内戦、イスラム国の台頭から欧州に飛び火し、中南米、南シナ海、黒海でも煙がくすぶっている状態です。ここでいわゆる戦争法と呼ばれる一連の法制度は政府の憲法解釈の変更だけでよかったのか、政府の考える改憲とは、平和を維持するには…などなど、今後国際情勢時事、政治などほっとスペース八王子で学習すべきことは山積しています。政府は「マイナンバー制度」によって税と社会保障制度の一元管理を目指しているようですが、普及率が低いのが現状です。そういった中で、政府がどんな手を打ってくるか注目です。

かつどうそうかつ

II. 活動総括

まずは会員の動静から。元会員の山崎さんが亡くなりました。まだ若く、これから「ほっと」に戻ってくる可能性も皆無ではなかっただけに、とても悔やまれます。年度後半に入って、かつての会員が少しずつ戻ってきて、通所実績も少しずつではありますが、上がってきた感があります。ただ、見学者のペースが平年並みかという印象はあります。今後の広報活動に課題がありそうです。ホームページやフェイスブックの更新は上がったともいえますが、ツイッター、ブログ、他メディアで多角的に広報活動することも緒に着いたところと言えそうです。機関誌「ほっと」やパンフレットを医療機関や公共機関に置くこともはたらきかけはしていますが、思ったようには進んでいないのが現状です。

次に運営面での報告に移ります。今後懸念される問題に家賃補助があります。八王子市としては、恒久的な家賃補助はなく、という方向性ではほぼ確定しています。八王子市の障がい者福祉事業所自体が急増し、予算も急激な膨れ上がりを見せる中、仕方のない措置ではあるのかもしれませんが、それは八王子市の事情であって、ほっとスペース八王子にとっては死活問題です。今後、収益効率重視に向かえば、あるいは解決できる問題かもしれませんが、それで大手の事業所に及ぶべくもなく、また、「当事者運営」というほっとスペース八王子の意義も失われかねません。ただ生き残るためだけであれば、いくつか方策はあるかもしれませんが、こういった意味において、ほっとスペース八王子は、まさに正念場というよりは岐路に立たされているといえるかもしれません。また、堀部代表が、代表としての立場は残すものの、職員としては常勤の所長から一步退く形になり、新しい常勤職員による所長という体制になります。次代を担う当事者（会員）としての代表も望まれるところでは。

次に、プログラム、授産、行事での総括に入ります。新規のプログラムとして、PC教室を始めました。従来、IT教室としてあったプログラムですが、やり方は一新しました。会員による講師で行います。この、会員によって行われるプログラムも、主催する会員が義務感や「やらされ感」で行うのではなく、会員間、または職員による適切なサポートは必要だという意見はありました。現状維持的なプログラムは、フットサル、水泳といった運動系のプログラムですが、苦手な人のために別メニューも用意しています。英会話、聞こう会、映画会などは、同じく現状維持とっていいでしょう。また、ゲームの会では、新しいゲームを積極的に覚えようという意欲が見られます。やや時間が減ったプログラムは、漢字（中国語）で遊ぼう、読もう会、各種学習会あたりです。研修旅行前の学習会は、プログラム時間外で集中的に行われます。一方、イメージ遊び、絵画、音楽（エレクトーン）、書道などは講師がいないなどの理由もありますが、ほとんど行われていません。

プログラム活動については、得手不得手の問題、取り組みに対する意欲の問題など、行う項目によって、偏りが出て来ないかということがあります。例えばみんなが音楽鑑賞が好きだからといって、音楽鑑賞ばかりというわけにもいかないのがプログラムです。ただ、強制しない、というだけです。参加者が少ないと、ともすれば半強制になりがちですが、そこは考えどころです。

授産活動は、じわじわと増えてきています。利用者の工賃という面ではいいことなのですが、一方でプログラム活動を圧迫しかねない状況にもなり得ます。共同作業所という点ではそれでいいのですが、「患者会」「当事者運営」といった観点からはどうなのか、問われるところです。ただ、授産活動も一種のプログラム活動として捉えた場合、会員の積極的な参加が目だっています。また、

誰に言われなくとも協力関係ができています。それについてはいい傾向です。もっと授産活動があってもいいという意見もあります。もちろん、それに対する適切な職員のフォローも必要になってきます。

行事については、例年行事として4月花見、5月総会、8月長崎、2015年9月2016年3月韓国、11月^{しの}偲ぶ会、12月望年会、同じく餅つき納会、合間に東京善意銀行招待行事が入って、^{とどこお}ほぼ滞りなく行われたのでは、と思います。また、5月には20周年記念行事として、記念パーティーと記念誌の発行がありました。機関誌である「ほっと」も、150号を数えるまでになり、まさに節目の年になったといえます。傾向としては、「ほっとスペース八王子」に近いところで行う行事ほど、参加人数が多いということです。年齢、体力、病状などを考慮すると、^{いちがい}一概には言えないのですが、やはり、遠出する行事こそ、参加人数が多い方がいいにこしたことはありません。

その他の問題は、特に会員の問題として、意見、考え方の^{そうい}相違といったことがあります。これはほぼ毎年あるとあっていいかもしれません。ただ、発言力の違いから、会員間に^{ふびようどうかん}不平等感が起こらないように意見調整をする機会も設けています。その場ですぐに問題解決できなくても、時間をかけてじっくり取り組む体制もできています。

もう一つ、就労していった仲間への問題があります。「八王子ワークセンター」が運営している「ふらん」、ハローワークとの連携によって就労していった仲間への適切なサポートが必要になってくるのですが、就労した仲間への^{こりつぼうしきく}孤立防止策、^{けんりようご}権利擁護といったことは、当人がなかなか希望しないとなると難しい問題になります。「就労者への利益」を念頭にじっくりと時間をかけて説明し、うまくサポートできるようにしたいものです。

全体的に、ほっとスペース八王子の根幹を揺るがすような大きなトラブルなどもなく、比較的堅実な運営であったといえるでしょう。

ただ、^{パソコン}PCや^{アイパッド}iPadといったIT機器の動作が遅くなり、古くなってきた感は否めません。財政事情もありますが、今後、ソフト面での投資も必要になってくるでしょう。今後の^{かだいとう}課題等は、職員、会員の皆さんは多くの意見を出してくれました。各論については、第4号議案の2016年度活動方針案に論を移すことにします。

以上で2015年度の活動報告を終わります。

- ・多数で承認されました。



2015年度決算表(第3号議案)

			2015年度予算	決算額	差引額		100.0%
収入計			24,859,294	22,254,117	2,605,177		89.5%
		給付金	10,650,000	12,283,079	-1,633,079		115.3%
		サービス推進事業・基本補助	5,406,000	5,406,000	0		100.0%
		八王子市家賃補助	1,542,600	1,542,600	0		100.0%
		寄付金	30,000	1,398,735	-1,368,735		4662.5%
		会員会費	60,000	8,000	52,000		13.3%
		入会金	5,000	4,000	1,000		80.0%
		共同募金会	100,000	80,000	20,000		80.0%
		民間助成金(車両購入費含む)	3,100,000	50,000	3,050,000		1.6%
		利用料	5,000	93,000	-88,000		1860.0%
		雑収入	10,000	167,764	-157,764		1677.6%
		受取利子	0	245	-245		#DIV/0!
		未払い金	0	0	0		#DIV/0!
		借入金	3,200,000	0	3,200,000		0.0%
		ハローワーク助成金	200,000	670,000	-470,000		335.0%
				0			
	前年度繰越金	550,694	550,694	0		100.0%	
支出計			24,869,374	22,254,117	2,615,257		89.5%
	経費A(運営費)計		24,311,520	21,726,892	2,584,628		89.4%
	事業費計		20,506,520	21,032,161	-525,641		102.6%
		給料	6,400,000	6,452,153	-52,153		100.8%
		職員手当	3,800,000	3,806,740	-6,740		100.2%
		賃金	2,500,000	2,118,207	381,793		84.7%
		法定福利費	1,100,000	1,469,618	-369,618		133.6%
		ボランティア報酬	320,000	278,887	41,113	ボランティア報酬	87.2%
		租税公課	50,000	0	50,000		0.0%
		人件費計	14,170,000	14,125,605	44,395		99.7%
		旅費交通費	700,000	826,688	-126,688		118.1%
		消耗品費	150,000	145,567	4,433		97.0%
		印刷製本費	400,000	409,275	-9,275		102.3%
		水道光熱費	500,000	471,690	28,310		94.3%
		修繕費	50,000	11,416	38,584		22.8%
		指導用教材費	100,000	67,405	32,595		67.4%
		役務費(通信運搬費)	375,000	527,837	-152,837		140.8%
		その他役務費	15,000	596,580	-581,580		3977.2%
		支払手数料	8,000	13,255	-5,255		165.7%
		事務用品費	25,000	7,957	17,043		31.8%
		新聞図書費	50,000	104,400	-54,400		208.8%
		使用料及び賃借料	250,000	487,404	-237,404		195.0%
		備品購入費	400,000	96,984	303,016		24.2%
		委託料	50,000	0	50,000		0.0%
		建物等借上料	3,208,520	3,085,200	123,320		96.2%
		諸会費	50,000	25,500	24,500		51.0%
		写真	0	0	0		#DIV/0!
		会議費	5,000	29,398	-24,398		588.0%
		寄付金支払	20,000	10,000	10,000		50.0%
		健康管理費	25,000	38,702	-13,702		154.8%
		保険加入料	50,000	0	50,000		0.0%
		通所奨励金	450,000	603,642	-153,642		134.1%
		雑費	10,000	7,000	3,000		70.0%
	車両費	3,250,000	35,387	3,214,613		1.1%	
	計		3,805,000	694,731	3,110,269		18.3%
経費B			557,854	527,225	30,629		94.5%
	借入金返済		50,354	35,387	14,967		70.3%
	救援費		7,500	¥0	7,500		0.0%
			0	¥0	0		#DIV/0!
	記念パーティ		500,000	¥0	500,000		0.0%
	雑損失		0	¥0	0		#DIV/0!
	未払い金費用		0	¥0	0		#DIV/0!
	次年度繰越金			¥491,838			

第5号議案

2016年度活動方針（案）

I. 情勢分析

2015年夏、安全保障に関する法律（以下安ボ法制）が国会で成立しました（実は内閣法制局は事前に閣議決定に合わせた人事となっており、前任者をして「違憲」と言わしめた代物ですが、ここでは議論しません）。早くも生活保護給付金額減額、支給基準の見直し、世論に於いては「社会保障財政リスク論」が幅を利かせ、社会保障予算が減額されるのでは、と予測されます。

改正安ボ法に連動して、「精神病患者」の日常生活にも大きな影響が起り得る法整備が矢継ぎ早に立法、成立してきています。「通信傍受法」改正（通信事業所内での通信事業所職員立会いの下での通信情報取得が警察署内での自由通信傍受可能に変更される）、「刑事訴訟法」改正（取り調べの一部可視化と称して取調室でのビデオ撮影の編集が可能に）、労基法改正（通称ホワイトカラーエグゼンプション。残業代を支払わなくても良いに変更）等、このうえ共謀罪まで成立したら「精神病患者」にとってどれだけ息苦しくなることになるでしょう。

さらに、7月参議院選挙で与党が全議席の2/3以上を獲得すると改憲に臨むとの安倍政権の方針にも注意が必要です。条文に緊急事態条項を盛り込むことも含めた改憲案は自由にもものを言うことがますます出来にくくなりますし、9条だけでなく、96条（憲法改正の条件）を改正する話もあります。この動きを看過する訳には行きません。憲法に絞った学習会を増やし、選挙時には公開質問状を各候補者、各政党に送りつけ、回答をもって、学習会を準備し、投票行動に反映させる必要があります（もちろんそのうえで政治思想信条の自由は担保しますが）。

年度が替わって早々、熊本を中心にして大地震がありました。震災に対する政府のあり方、復興、活断層と原発のリスクなどあらためて浮き彫りになりました。防災知識、対処法、などもあらためて学習する必要があります。

2016年度の活動方針として、前年度に長期計画として大まかに5か年計画というのを起ち上げましたが、これははっきり5年という期限を切って進めるという意味でなく、段階的なものとして捉えて頂けると幸いです。つまり、5か年計画というよりは、5段階計画というふうに考えて頂きたいのです。そこで、「ほっとスペース八王子」としては、身の丈に合った、等身大の運営方針に戻って今後の活動方針を立てていきたいと思えます。「会員数増加の取り組み」「事業の拡大について」「現実社会との折り合いについて」「5段階計画」「重点施策事項」の項目に分けて説明していきます。これらについて、職員、会員のみならずさまざまな意見をいただきました。ありがとうございます。

II. 会員数増加の取り組み

まず、これは恒常的かつ喫緊なこととして必要なことですが、会員の拡大です。前年にも書きましたが、「主に授産活動を請け負う」「主にプログラム活動を行う」「単なる居場所、たまり場」の3つの別の「ほっとスペース八王子」ができることが理想です。引き続きメディア（インターネット、機関誌「ほっと」）を介した広報活動、あるいは他事業所と連携を図ってみるというのも一つの手かもしれません。いずれにせよ、利用希望者にとって、魅力的なコンテンツを提供できる環境づくりは不可欠です。

機関誌「ほっと」やパンフ、リーフレットを使った広報活動は、病院、クリニックへの働きかけ（置かせてもらうなど）は難航しているという話ですが、他の公共機関、ボランティアセンターなどへ置くという案もいただきました。また新しく来ていただいた見学者（会員候補者）に定着（リピータとして来ていただく）には、利用料については、プログラム、行事についての見直し、などなどさまざまな意見をいただきました。個別の具体的な案を実行するのは、今後の全体ミーティングなどで意見を集約する予定です。何らかの意見が、実際に具体的なこととして諮られるのは「ほっとスペース八王子」のひとつの強みでしょう。

Ⅲ．事業の拡大について

新しく立ち上げたいことについては、まずはグループホームです。以前より行政（厚労省）から病棟転換型居住系施設という案が上がってきています。現在は事実上頓挫していますが、またぞろ復活してくるとも限りません。グループホームの需要は必ずあります。

ただ、この事業は長い目で見て進めて行かなくてはならないでしょう。新規に起こす場合のハードルがとて高いのが大きな理由です。次は、相談支援事業です。「いのちの電話」に代表される相談窓口は、需要に対してまったく足りていません。ただ、相談支援事業者として登録する必要があること、また相談支援専門員を置く必要があります。最初から有資格者が雇えばいいですが、職員あるいは会員から養成するとなると、それなりの時間がかかってしまいます。が、まったく実現不能なことでもありません。

次に、継続して行いたいこと、まずこれは既存のプログラムや行事についてです。結局のところ、絵画や書道といったプログラムもやむなく削った形です。例えば、予定の変更などでフリーになってしまった時間があるとすると、利用者の多くは、音楽鑑賞のようなことに充ててしまいがちです。そういった時にとっさに組める有意義なプログラムがあるといいかもしれません（音楽鑑賞が有意義でないという訳ではないですが）。プログラムも、映画会や聞こう会、PC教室などは会員有志で実行できるようになってきました。

会員で出来ることはなるべく出来る形がほしいところですが、現状でもよくやっている方ではないかと思われま。行事については、これも基本的に会員でできることはなるべくできればいいのですが、職員が適切にフォローできる体制は必要です。また、各行事について段取りのマニュアルもできるといいかもしれません。

授産活動については、まだ増やしてもいいという意見がありました。「働く」というよりも、「何かをする」「作業する」ことに意義を見出しているようです。いい傾向です。

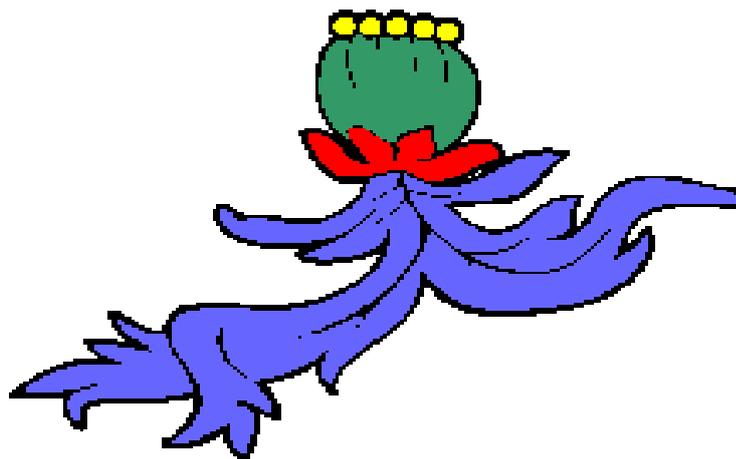
Ⅳ．現実社会との折り合い

「空気を読まなくてもいい」ほっとスペース八王子をうたい文句(?)にしてきた部分はあったのですが、実際は一部の会員がときには「空気」をつくりだし、会員がまた別の会員の顔を窺うようなこともなくはないです。つまり現実社会の縮図がそのまま「ほっとスペース八王子」に持ってこられることもあるわけ。ただ、そういった場合、全体ミーティングなどで話し合われることで解決を図ることは必ず行います。それが「ほっとスペース八王子」の強みと言えます。また、一部問題行動を起こす、協調性がない、思想信条の違いなどで会員間の軋轢（もっと問題がこじれば排除の問題）があることも否めません。これらの問題は、会員が増えてくればもっと複雑化します。ただその時に将来的なほっとスペース八王子の分割管理といったときに単純に気が合う同士だけで割ればいいという話になりがちです。そうなると、何度も出しますが「患者会」「当事者運営」という観点あるいは「会員の自立」といった観点ではどうかということになります。このことは、「ほっとスペース八王子」が将来事業所を増やす段階でじっくり話し合う必要があります。

Ⅴ．5段階計画

これはおおざっぱに

- ① 会員の拡大（増加）
- ② 職員、ボランティアの強化
- ③ 分離独立、グループ化（他事業の開拓）
- ④ 事業細分化
- ⑤ 包括的な社会福祉事業



というように考えています。これらを^{いっきかせい}一気に5年でやり遂げるのではなく、長い目で見て段階的に進めていく方向です。

VI. 2016年の^{じゅうてんしきくじこう}重点施策事項

施策1（政治への関心）

過去の歴史事例から、戦争（紛争、内戦ふくめて）をはじめとする社会不安が起こると「治安」という名目で障がい者の保安処分が^{おうこう}横行します。政治の動きに対してはときとして「ノー」という態度も必要になってきます。

① とりわけ、改憲に関しては、実際には新憲法制定というふうにご考えてください。その場合、社会保障費（生活保護、各種年金、手当など）が^{さくげん}削減されることも考えられます。現実問題として、「ほっとスペース八王子」と八王子市行政当局の家賃補助問題があります。会員も自分の問題として八王子市と交渉できればベターです。

② いわゆる「司法改革」という問題があります。^{けいそほう}刑訴法、^{しいてき}通信傍受法の見直し、^{さくげん}司法取引、「共謀罪」新設これら一連の動きは、当局の恣意的な運用を可能にするものです。障がい者にとってまた、恣意的な運用がされないか、もちろん法自体に反対するのみならず、「そういう流れを作らない」ことも大切でしょう。

③ もう7月には参議院選挙があります。このタイミングでは衆参同時選挙の可能性は低いですがゼロではないでしょう。きっちりと各候補者、政党に対しては政策を確認する必要があります。公開質問状、選挙学習会は定例となっています。

施策2（会員増への取り組みと、会員の定着）

- ① 精神医療機関（病院、クリニックなど）、公共機関（市民センター、福祉センターなど）ボランティアセンター、他事業所などにパンフレットないしは機関誌「ほっと」をおいてもらう。
- ② 会員の意見を反映させたパンフレット、最初の1回見学者に無料で昼食提供するなどする。
- ③ 休みがちな会員には、職員だけでなく、比較的出席率の高い会員にも電話での声かけをしてもらう。リピーターを増やす。
- ④ ほっとスペース八王子という名前の通り、ほっとできる場所というイメージづくり。（入会間もない人、見学者など、自己紹介、うまく溶け込むための方策、授産作業体験、プログラムや全体ミーティングなどの体験）

施策3（プログラムや行事のニーズやありかた）

- ① プログラム、授産作業、^{きゅうけいじよ}休憩所^{さんぶん}うまく3分して会員の需要に応える。（最終的には事業所別にしてしまうのが目的）
- ② 季節感のある食事や行事。春なら花見、夏なら花火やお祭り、海など。秋はグルメツアー、紅葉狩りなど、冬はクリスマス、望年会など。
- ③ プログラム担当会員、行事の幹事会員などもあらかじめきちっと決める。参加者が少なくならないように、職員（ボランティア）も適切にサポートする。
- ④ 昼食会の手伝いなどを通して、独り暮らしの会員の生活スキルを向上させる。

施策4（代表人事）

所長兼代表の堀部の後任として、代表（当事者）を選出する。

以上で、第5号議案、2016年度活動方針案を終わりにします。

2016年度予算案(第6号議案)

				2016年度予算		2015年度予算		2015年度決算		8.3%
	収入計			26,641,438		24,859,294		22,254,117		67.4%
			給付金	14,400,000		10,650,000		12,283,079		66.7%
			サービス推進事業・基本補助	6,186,000		5,406,000		5,406,000		66.0%
			八王子市家賃補助	1,542,600		1,542,600		1,542,600		130.0%
			寄付金	1,000,000		30,000		1,398,735		2.0%
			会員会費	36,000		60,000		8,000		166.7%
			入会金	5,000		5,000		4,000		100.0%
			共同募金会	1,870,000		100,000		80,000		5.3%
			民間助成金(車両購入費含む)	500,000		3,100,000		50,000		10.0%
			利用料	50,000		5,000		93,000		0.0%
			雑収入	10,000		10,000		167,764		100.0%
			受取利子	0		0		245		#DIV/0!
			未払い金	0		0		0		#DIV/0!
			借入金	0		3,200,000		0		#DIV/0!
			ハローワーク助成金	550,000		200,000		670,000		72.7%
			前年度繰越金	491,838		550,694		550,694		45.0%
	支出計			26,641,438		24,869,374		22,254,117		69.2%
	経費A(運営費)計			26,631,284		24,311,520		21,726,892		69.3%
		事業費計		22,611,284		20,506,520		21,032,161		77.9%
			給料	6,246,372		6,400,000		6,452,153		144.8%
			職員手当	3,800,000		3,800,000		3,806,740		59.7%
			賃金	3,931,392		2,500,000		2,118,207		25.4%
			法定福利費	1,900,000		1,100,000		1,469,618		3.2%
			ボランティア報酬	300,000		320,000		278,887	ボランティア報酬	100.0%
			租税公課	0		50,000		0		#DIV/0!
			人件費計	16,177,764		14,170,000		14,125,605		186.0%
			旅費交通費	850,000		700,000		826,688		44.7%
			消耗品費	150,000		150,000		145,567		133.3%
			印刷製本費	10,000		400,000		409,275		0.0%
			水道光熱費	500,000		500,000		471,690		86.0%
			修繕費	50,000		50,000		11,416		80.0%
			指導用教材費	80,000		100,000		67,405		125.0%
			役務費(通信運搬費)	375,000		375,000		527,837		85.3%
			その他役務費	15,000		15,000		596,580		100.0%
			支払手数料	15,000		8,000		13,255		26.7%
			事務用品費	15,000		25,000		7,957		3.3%
			新聞図書費	150,000		50,000		104,400		16.7%
			使用料及び賃借料	490,000		250,000		487,404		40.8%
			備品購入費	400,000		400,000		96,984		25.0%
			委託料	50,000		50,000		0		100.0%
			建物等借上料	3,208,520		3,208,520		3,085,200		100.0%
			諸会費	30,000		50,000		25,500		216.7%
			写真	15,000		0		0		
			会議費	30,000		5,000		29,398		0.0%
		寄付金支払		20,000		20,000		10,000		125.0%
		健康管理費		40,000		25,000		38,702		115.0%
		保険加入料		50,000		50,000		0		0.0%
		通所奨励金		650,000		450,000		603,642		53.8%
		雑費		10,000		10,000		7,000		118.1%
		車両費		3,250,000		3,250,000		35,387		12.3%
		計		4,020,000		3,805,000		694,731		20.7%
	経費B			10,154		557,854		527,225		0.0%
			借入金返済	0		50,354		35,387		#DIV/0!
			救援費	7,500		7,500		0		0.0%
			記念パーティ	0		500,000		0		#DIV/0!
			予備費	2,654		0		0		
			雑損失	0		0		0		#DIV/0!
			未払い金費用	0		0		0		#DIV/0!
			次年度繰越金	¥0				491,838		

京都研修旅行レポート

京都「前進友の会」 交流旅行レポート

孫悟そんご 麵めん

あらすじ(行動記録)

2016年3月1日(火)、「ほっとスペース八王子」を定時に上がり、いったん帰宅、旅行の支度と夕食。22時少し前、自宅発。22時20分ごろ、JR八王子駅着、「前進友の会」への土産を買つ。23時15分、Walker express 定期便着。京都へ向けて出発。最初は狭さと緊張で眠れなかったが、第1休憩所で小用のあとは、第2、第3休憩所に着いたことすら気付かず。

3月2日(水)朝6時40分ごろ、大津SAで最後の休憩。7時30分、京都八条口(南口)着。いったんJR京都駅から1駅東へ。山科駅から京阪(京

都市営地下鉄併用線)で御陵駅へ。南西へ徒歩で10分ほど、ようやく「前進友の会・やすらぎの里共同作業所」(以下作業所)の建物へ着く。このとき、8時35分くらい。誰も来ていないので、駅へ戻りコンビニで朝食。

作業所へ再び戻ると、所長のI.Nさん(以下I所長)が出迎え。この建物の利用についてや、本人の入会したいささつ、「前進友の会」について、「やすらぎの里共同作業所」について、スケジュールなどの話だけで午前中終了。御陵駅近くの中華料理屋で昼食。ふたたび作業所に戻って14時まで休憩。その間にEBさん(以下Eさん)来所。1時間ほど談笑していたところ、電話。なんでも、月曜日岩倉病院へ入院している仲間をお見舞いに行ったのだが、その一人が、火曜日に亡くなったという話だった。平安教会というキリスト教の教会で前夜式(一般の葬儀

で言つところのお通夜)があるということだったが、木曜日の告別式に参加するということ段取りをつけた。

16時から、Eさんと京都を少し観光。将軍塚と豊國神社を参詣。移動の間、十全会のこと、そこから脱走した患者がアパートを借りて共同生活を始めたのが「前進友の会」の原点だということなどを聞いた。作業所に戻ると、K

Gさん(以下Kさん)が来ていた。夕食の準備をし、冷凍庫で保存してあったカレーを解凍している途中にEさん帰宅。Kさんと話をしながらカレーを食す。21時少し前にKさんも帰宅。23時過ぎに1人で就寝。翌3日(木)8時頃起床。前日解凍したカレーを食す。10時には会員のほとんどが作業所に来た。集まったところで作業所の車とEさんの車に分乗して平安教会へ。慣れないキリスト教式の告別式だったが終わって出席者と少し茶話会

になった。作業所に戻ってすぐにEさんは帰宅。自分は昼食へ。御陵駅近くの喫茶店兼洋食店でランチ。

作業所に戻るも、告別式に出席した会員たちも三々五々帰宅していく。夕刻近くになってKさんが来所したので留守を任せ、業務スーパー御陵店へこの日の夕食と翌朝食を買いに行く。Kさんと雑談しながら夕食。19時過ぎにKさん帰宅。テレビを見て23時過ぎには就寝。この日も一人。

翌4日(金)。8時ちょっと前に起床。朝食を摂り、9時過ぎには来所する会員さんがいた。

この日は食事会ということで、材料も買って来ていた。メニューは麻婆豆腐。最初から手伝う予定でいた。ネギ

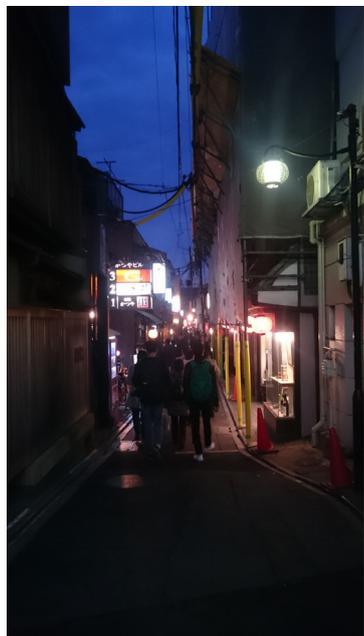


前進友の会・やすらぎの里共同作業所への最寄駅、御陵駅(京阪・京都市交通局)

の切り込み。と麻婆豆腐の調理。昼食(食事会)。その後、回らん。Eさんの都合もあって、17時には作業所を出発。八坂神社前で別れた。
ここで研修自体は終わり、土日は観光に充てる。
そのまま祇園四条のカプセルホテルへ。チェックインして夕食へ。なぜかマクドナルド。ホテルに戻って入浴。1時間以上かけてゆっくり入浴。この日も23時くらいには就寝。
翌5日(土)。7時過ぎに起床。カプセルホテルの朝食ビュッフェ。8時過ぎには手荷物だけ持って出発。京阪近鉄と乗り継いで奈良へ。さらにバスで奈良公園から東大寺へ。東大寺か



京都研修旅行



りぼーと

(写真は先斗町の路地)

とができました。外観は塗りなおしてありましたが、年季が入っている感は隠せませんでした。中に入るとさらに年季を感じました。でも初めて来たという感じがしませんでした。どこか懐かしい場所に帰ってきた感じがしました。夜になって一人でいても、迫ってくるような寒ささえも、自分の記憶の中に最初からあったような、そんな感覚でした。初日(3月2日)、將軍塚に参ったのですが、最近になって、通称「平安道場」と呼ばれる古い武道場が移築され、奥殿に国宝の青不動尊が安置されるようになりました。その建物の裏にはガラス張りの茶室があり、大舞台と呼ばれる広いスペースがありました。そこは京都市内を一望で



ら法隆寺、平城宮公園へ。

ここまでで時間が押してきたのでホテルへ帰投。入浴後は、カプセルホテルにロビーがないので食堂でくつろぐ。23時には就寝。

翌6日(日)。朝食後、ホテルをチェックアウト。京都駅へ直行、お土産を買った後いったんコインロッカーに荷物を預け、京都観光を試みるも、京都市内各地へ向かうバス待ちの人の多さに断念。京都タワーへ。京都市内を一望して早めの昼食を摂り、11時21分発「ひかり」で東京へ。14時過ぎに東京着。17時ごろには帰宅。「前進友の会・やすらぎの里共同作業所」研修兼交流旅行は終わり。

感想、思った事など。

まず行き交通機関について。作業所で聞いた話では、「青春18きっぷ」を買って在来線で来るのも経済的だと

いうことです。

朝早くの電車で、7時間半もあれば京都まで来れるとの事です。次回以降検討してみたいと思います。もともと、夜行バスという手段も捨てません。3列シートだと比較的余裕ですが、数に限りがあります。4列シートだと狭い、暑いで寝苦しいのですが、予想以上には眠れます。

京都市山科区について。御陵駅周辺は、幹線道路をはさんだ閑静な住宅街と言ったたたずまいです。パチンコ店やショッピングモール、ゲームセンターなどもなく、飲食店もあまり多くはなく本当に住宅街です。住宅街を歩いていると、時折文化財級の古びた家があったりして散策するにもいいところです。聞いた話では、同じ京都市でも、山を隔てたぶん、気質がちよっと違うという事です。

「前進友の会・やすらぎの里」について。ここへはあまり迷わずに来るこ



ひがしやまさんちよう こんこういんおおぶたい のぞ
 東山山頂の金剛院大舞台から臨む
 京都市内。黒っぽいラインは鴨川、
 真ん中へんの緑は京都御所。

さる絶景でした。この場所はちょうど東山の山頂あたりに位置し、東に山科区、西に京都市内が広がっていました。五山送り火のある山を確認したり、日本庭園（水なし）を散策したり、気が済むまで写真を撮りました。

将軍塚へ向かう道中、ちよっと道を間違えて、十全会の施設のある山道を通ったのですが、山道に沿って十全会の老人介護施設の建物が続いています。（現在は京都東山老年サナトリウムという名称のようです）

前述しましたが、この十全会の精神科病院を脱して近くのアパート（現在のやすらぎの里共同作業所の場所とは異なります）を借り、患者会を結成したのが「前進友の会」です。たとえば

就労支援B型作業所「やすらぎの里共同作業所」あるいはNPO法人「やすらぎの里共同作業所」としての意思決定は患者会としての「前進友の会」にある、と、そういう関係です。

作業所に戻って解凍して食べたカレー、美味しかったです。忘れられない味になりました。翌日、会員だったという人の告別式だったのですが、着の身着のままでの出席で何となく申し訳ない気もしたのですが、Eさんは「構わない」というので、一緒に出席させていただきました。亡くなってからの縁というのもなんだか不思議な感じがするのですが、棺の中の故人は小さく感じました。人生の苦労を一身に凝縮したかのようなようでした。慣れない讃美歌を歌い、出棺を見送り、少し茶飲み話をして作業所に戻るまではあつという間のような感じがしました。出席したみんなは一緒に疲れているようでした。やっぱり精神的な疲れが先に来るみたいです。

その翌日は恒例の食事会だったので、表面上は気持ちの切り替えができていたように見えました。自分は麻婆豆腐、別動隊は味噌汁を作りました。見た目があまり麻婆豆腐っぽくなかったのですが、おおむね好評で安心しました。味噌汁が具だくさんでまさ

に自分好みで美味しかったです。この次（行く事があるとすれば）は、お土産を持っていく代わりにケーキでも焼くのもいいかもしれません。たった3日間、ただいだけだった3日間、この時間がとてもかけがえがなく、貴重な3日間に感じました。帰るのがとても名残惜しく感じました。ただいだけだったのにとっても濃縮した時間を感じました。

八坂神社前でEさんと別れたあとの祇園四条の喧騒、先斗町の明かり、鴨川の河原にたむろする若者たち、何もかもいとおしい風景に感じました。

おまけ。土曜日は奈良公園へ東大寺へ法隆寺へ平城宮公園と回ったのです



京都平安教会。
 キリスト教式の葬儀は初めてでした。
 故人の魂安らかに。



奈良公園の鹿さん。
 もうおねだりアピールがはんばないです。

が、思ったより効率が悪く、「もっと回れるはず」でした。

高校の修学旅行以来の奈良でしたが、そのときの鹿せんべいはもう少しお菓子っぽかったのですが、今回の鹿せんべいは、麦ふすまっぽい味になっていました。でも十分人間が食べられる味です。自分が食べようとすると、鹿タックルをくろうのは相変わらずですが、最近の鹿は、鹿せんべいを持っていると服の裾や袖に噛みついてきます。でもそんな鹿さんが大好きです。

奈良へ行った目的の半分は鹿さんでしたし。（あとの半分は法隆寺でした）

その後の東大寺の柱の穴はもうくぐれないし、以前の来訪と比べて外国人

がとても多くなりました。ヨーロッパ系の方が、大仏に手を合わせて拝む：なかなかシニールです。

法隆寺は、山門が工事中でした。というより、門前の風景が自分の記憶とは若干違っていました。今回は瓦一枚寄進しました。

新しく行ったところは平城宮公園です。ほぼ当時の平城宮(プラス平城宮の一部)の敷地を利用した歴史テーマパークになる予定です。予定ですが、というのは、まだ朱雀門と大極殿正殿しかおもな施設は完成していないからです。当時の平城宮全体と平城京の街並みの一部が再現されるということですが、完成は2019年(平成31年)です。



大仏の裏を知る男参上。表ほどでないにしても、きちんと装飾が施されています。



近鉄特急ピスタカー。初めて乗ったのですが、非常に快適です。

日曜日、土産物を買ったら少し京都観光を考えたのですが、本命の梅小路鉄道博物館はまだ開業前(4月29日に開業しました)、京都市内でどこか一か所でも思っていたところでもかきこもバス待ちをする観光客の人だかり：ここで一気に疲れが噴出、京都タワーに登って一休みして、考えた末に帰ることにしました。19時21時くらいの帰宅を考えていたのですが、思ったよりも疲労が激しく、午前中には京都を出てしまいました。運賃の高ささえ目をつぶれば、新幹線はすごく快適な乗り物です。以上。

釜山 釜山研修事後レポート。

P. 6000

初日は、お昼のフライトでしたが、夕方、何かあるのかざっと市場を散策しました。プサンは、ソウルより物価が安く、海に面しているので、海産物がよくとれます。

夕飯は近くの店へ行き、タコのチゲ(唐辛子の海鮮鍋)をいただきました。僕はあまりにもお腹が空きすぎて出されたご飯を先に箸をつけてしまい、鍋に入った海産物をご飯の上にかけるものだと、後々わかりました。何せ、鍋に火をつけたり作業が多くて、一言声かけて下さっても良かったのに。じゃ、コンビニでパンかな。床暖房のオンドル、熱くなく、常時座っていられました。座布団しいたけど。

帰り際、安兵衛所長とKさんは、夜店で明日の朝食を求めています。袋いっぱい揚げ物を目の前に掲げてみて、ホクホク顔のようでした。

二日目の朝、地下鉄に乗って移動しました。釜山タワーへ参りました。僕は、高いところが怖くて、しょうがなく受付で取材しました。日本語と韓国語の堪能な受付のお姉さんがおっしゃる、「釜山は、第二の都市で日本の商



釜山の夜景。どこかノスタルジックなネオン街。

業の街、大阪のような所」だといひ、取材を続けていたら、プサンオモニ(意味：プサンのお母さん)が僕の後ろでタワーに上る順番を何も催促もせず笑顔で待っていてくれました。温かいプサンオモニでした。ただ、商業の町であり、「観光しないのなら出ていけ！」と言わんばかりの冷たい施設的な方が僕に迫ってきて僕は、退去せざるを得なく、しかたなく、ベンチに腰掛けて手に持っていたビデオで動画を撮っていました。日本にもいる鳩がこちらを見ているようで「どうしたのかな? コクリ……」と首をかしげてこちらを伺っているようでした。「ああ、鳩のように飛びたてたら、ふわふわの羽で



カンチヨンドムナマウル
釜山の甘川洞文化村。
『釜山のマチュピチュ』がコンセプトらしいです。

安兵衛所長やKさんのところへ、羽ばたいて向かえるのになあ」とどんな景色が観たかったです。所長やKさんにビデオカメラを預けても良かったのですが、あいにく、撮影禁止のようでした。取材しておきながらただ帰るわけには行かなかったので、おれにと、数少ない所持金から、韓国の50ウォンと日本の五円玉を受付のお姉さんにお渡ししました。分かるとおりの伝えられたのは、「日本と韓国が対等に向き合えるように、ご縁がありますように」と差し上げたら、お姉さんは、にっこり、笑みを浮かべてくださいました。僕は、嬉しかったです。

たものでしょう」
街角のCDショップを観ませんでした。楽器店なら目撃しました。音楽市場が小さい韓国でミリオンセラーは日本以上に至難の業というほど、人口が少なく、2009年で約1023万人（ソウル）。日本と同じ温帯気候。
更に日本では統一感あるシンプルではありませんが、街行く人々のファッションを伺うと、年齢が若い人ほど色の組み合わせが多様で、これはたぶん日本占領下時代の名残かと思われました。というのは、思い一考したのは、「もっぺ」のしおはねなど、「なるほごな〜」

続いて洋館でできた近代歴史館へ参りました。ここには、日米韓の資料館でした。1Fにはスクリーンを使いプサンの成り立ちや現在までのいきさつが上映されておりました。特に日韓双方の商業など、物品行き来を解説していました。日本は工業製品を韓国に売っていたそうです。
2Fはプサンにおける日米韓の支配についてでした。感性の薄い僕は、置いていて、分かる人は初日にフライトしてプサンに着陸する数分の瞬間、分かったそうです。それは、プサンは海から田畑が広がる平地で上陸しやすいと気づいたそうで、「これなら、日本を制覇した秀吉も計画が練りやすかったものでしょう」

の多彩なファッション。僕は、好きです。日本は、ユニクロなんかそっちのけのようブランド物より「自分でブランドを作るんだ!!」という気迫を感じました。日本はシンプルすぎてて無味乾燥みたいな感じ。ああ、安兵衛所長に地下鉄で「買ったら？」といわれたのは名残惜しい気がしました。ああ、残念。
でも、「Qoo10」という韓国ファッションサイトもあるので、韓国の興味がますます、そそられました。ハングル語も面白い字に見えますよ。ぜひ習得したい。



釜山と言えばなんといっても生鮮市場。
ユムシ（右下の角皿）は特に釜山ならではの



Qoo10で調べたらこのようなバッグが出ました。
なかなかカラフルです。

「Qoo10」なんか、再び日本へ帰国して、どんな服か興味あったので、調べたら日本とは違つと見比べて思いました。同じアメリカの占領下にあっても海超えたら違いました。言葉は形を変えて伝わったのに。それでいて使う道具は同じ。でもメッセージはある。なんか複雑です。
地下鉄で「温泉場」という足湯へ向かいました。「あれ？水が枯れてるよ？」「あう!!ほんとだ!」「でも、ここしかないのかな?」「他へあたらう……」「ちょっと歩くと「あれ?」「ここにあったよ!」通りを少し行くと、足湯場がありました。すでに、席を埋めつくほど大勢お客さんがいらっしや

いました。僕は、「イルボン(日本)！」
 という中には「台湾人」の方もいらっ
 しゃいました。なかなか、話したす勇
 気もなく、足が真っ赤かになりました。
 熱いというより痛かったです。

三日目、帰国しました。民芸店に寄
 り海苔を買いました。小包装だったの
 で、名刺代わりになり、便利でした。
 日本にも駄菓子で見かける、これから
 のトレンドは、カード型食品ですね
 (??)

H-S旅行で一緒に居合わせた女性
 人が多かったこと。「市場もいいけど、
 スーパーが安いですよー」なんて教え
 てくださったので、「じゃ、次回?!!」
 希望を胸に帰国しました。

(おまけ)それで、プサン空港で安
 兵衛所長とKさんが漢方を買いきり
 て、所長はいいんですが、Kさん、錠
 剤を買ってしまつて(笑)堀部所長「ピ
 ンピンになるよ!!」って橋田さんと一
 するんすかね?リゲインのC、Fを
 コマーシャルフィルム
 思い出しました。牛若丸三郎太の「勇
 気のしるし」これカラオケで歌ったら
 ウケ取れたかも。

以上:プサン研修旅行でした。



「やあ、また来た」
 ルベ神父だ。次も
 P.6000さんの
 レポート(多摩総研
 修)だ。



多摩総

レポート

「平成27年度

発達障害支援研修」

場所:東京自治会館 講堂(4F)
 P.6000

日時:平成27年12月4日(金)

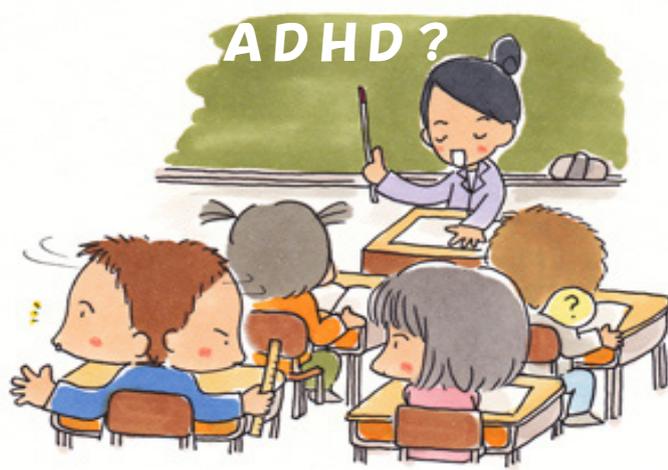
時間:9時30分~16時30分

■プログラム■1「発達障害の理解」
 (概論)

講師:東京都立多摩総合精神福祉セン
 ター 生活訓練科長 川田 深志氏

2「発達障害がある人への支援」

~発達障害者支援センターにおける
 実践から:学齢期を中心に~



講師:東京都発達障害者支援センター

センター長 山崎 順子

感想「発達障害とは、先天的に脳の発
 達に偏りがあり、脳機能の一部に障害
 があります。通常であれば成長する過
 程で身につく「社会性」「コミュニケー
 ションスキル」などが、身につけにく
 いとお聞きました。

社会的適応が困難になりやすいし、
 親子関係の葛藤による心理的な問題の
 ような心の問題による育て方の問題で
 はありません。また、発達障害の特性
 が現れ始めるのは、赤ちゃんからで成
 長するにしたがって特性が目立たなく
 なるケースもあります。しかし、成人



LET'S BUILD A RAINBOW NATION

した後も、特性が持続する場面が多い」
 僕はこれらの見地から発達障害と
 は、社会性がないというより順応性に
 欠けると思われますが、いくら社会と
 いったからといって、社会を創っ
 たのは育てられた人間で、周りと少し
 変わっているからと追いやるのはかわ
 いそうです。なので、僕は常識にとら
 われない活動をしていきたいと感じま
 した。

賛成反対ありましようが、反社会的
 な文化言動が少なからず生まれ、周り
 から批判非難を浴びる者としては、日
 本社会には平均するところに部外者へ
 のいじめがあり、いじめを解消させる
 には癖のある個性が、日本社会に必要
 だと強く思いました。だって「みんな、
 生まれも育ちも親も誰もみな同じ人生
 はないんだよ」

僕は、発達障害ならびに三障害を通
 して、障害者の理解を不平不満の異見
 を身を持って提示し続けます。

支援と配慮は障害者を必ずや救いま
 す。そのためにも、障害者を支援する
 職業も健常者にはあるし、
 障害者であっても社会性はあります。

平成27年度 「地域移行支援」 地域定着支援研修

場所：国分寺労政会館 第4会議室
日時：平成27年10月28日(水)
時間：9:30～16:30
プログラム

第1部 「精神障害者の地域生活を支える」

講師 社会福祉法人はらからの家福祉会 地域生活支援センタープラッツ 総合施設長 伊澤 雄一

「東京都の地域移行事業の活動」ピアサポーターとともに」

ピアサポーター 吉田 尚子 高木 葉子 高木 葉子

第2部 「東京都における精神障害者の地域移行の取り組み」

講師 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 広報援助課統括課長代理 地域体制整備担当係長 平川 千鶴

第3部 「地域移行支援実践報告①」

サポートセンターきぬた 有馬 慧 ところのホスピタル町田 竹谷 悠輝 町田相談支援センターヒギン

生田 直子

・地域移行支援実践報告② やさか記念病院 安斉 雅人

国分寺労政会館。各種学習会でお世話になっていきます。



指定相談支援事業所野の花

相談支援事業所 暖 波佐 裕子 田中 文人

地域活動支援センター 連 大河原 慈敦 山本 則昭

グループホームアトリング

・地域移行支援実践報告③ 社会福祉法人はらからの家福祉会 地域生活支援センタープラッツ

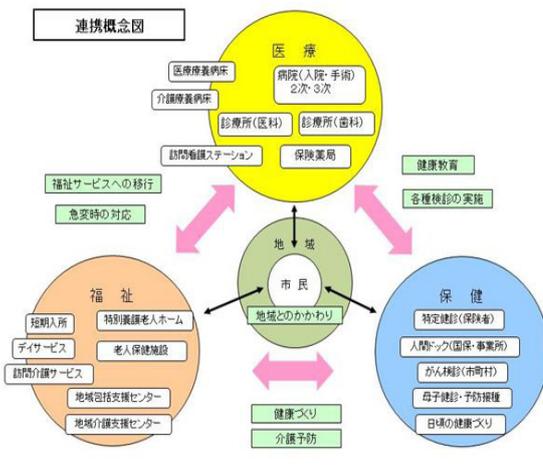
総合施設長 伊澤 雄一

〈感想〉「障害者総数は、787.9万人(人口の約6.2%に相当、そのうちの精神障害者は320.1万人)障害者数全体、そして、在宅、通所の障害者は、増加傾向にある。」この資料から、長期入院患者が多く僕は、医者

や施設が今すぐ無くならないという危機感にあると思います。というのは、政府からの障害者基礎年金を受ける身であり、医療で飯食っている僕は、悲観視します。働き口が無いのと同時に時間ばかりだけが過ぎ去っていく現状に、僕らの人生は医療に投資依存する出会いの無い管理された墓場。これでは一生病院から抜け出せません。現に僕は、もう17年も通院し続け先の永い医療に不満ばかりでお世話になっていきます。

その不満がいやでいやで、こんなところに週一でも通いたくないです。もっと自由に生きたい。縛られたくないと感じています。

だから僕は、B型のほっとスペース



八王子を活動の場を選びました。自分の生活が本当にどう処理していいかわからないです。出会いと情報がないのは悔やまれます。どの障害者も医者に気づかれず、双方悩みの種だと思いました。入院患者の悩みはそれだけでなく、退院希望でも遠方希望や住む場所もなく、家族の協力が得にくい場合もあります。ただ、一方で病院側も早期退院に向けて補助を受けています。なので、患者側もより早い退院が望まれます。醜いアヒルでも、隔離室から自由な大空へ羽ばたきたいと思う気持ちある障害者は、少なからず僕だけではないでしょう。だからこそ、障害者には地域移行支援・定着支援の円滑さが重要です。

概要	地域活動支援センター機能			
型	実施内容	職員配置	利用者数	
事業内容	I	相談支援事業実施(必須) ・医療・福祉及び地域社会と連携強化の調整 ・地域住民ボランティア育成 ・障害の理解促進を図る普及啓発等	基礎的専業職員数+1名以上 実用人員(専門職員として精神保健福祉士等を配置)	1日当たり 実用人員 概ね20人以上 ※
	II	雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを実施	基礎的専業職員数+1名以上 (1名以上常勤)	1日当たり 実用人員 概ね15人以上
	III	実績を概ね5年以上有し安定的な運営が図られている小規模作業所事業と他に自立支援給付に基づく事業所に併設して実施	基礎的専業職員数 (1名以上常勤)	1日当たり 実用人員 概ね10人以上
基礎的専業	通所障害者に、創作的活動、生産的活動の機会を提供等支援を行う(財源:交付税)	2名以上 (1名は専任者)	-	
留意事項	利用者と間に利用契約を締結すること 事業を実施するためには法人格を有していること			

※ 利用者数の要件を満たすことが困難な場合は、経過的精神障害者地域生活支援センター事業として平成18年度に限り地域活動支援センターI型の事業を行うことができる。



安兵衛

毎回オリンピック招致で東京都知事は石原知事時代からあるいはそれ以前からあったのではないかと疑われる招致買収疑惑。

毎回オリンピック招致のために世界各国で持ち回りか何か知らないがIOC委員なる貴族然とした連中が各都市に招待され、贅沢三昧のもてなしを受けて、開催地を決めている。オリンピック開催には放映権とか、スポーツ商品製造企業とか、多額のお金が絡んでいる。

その多額のお金目当てで、政府主導で税金を使つてつごめく。

いったい誰のためのオリンピックなんだ。一部の連中の金儲けのためのスポーツ資源として税金を湯水のように使つたり、招致のために大名旅行然とした旅費を浪費して招致活動をする各国のオリンピック委員たち。

サッカーのFIFAワールドカップに関して理事たちの買収事件が明るみになったけど、やっぱりそうか、とうなずいてしまう現実がある。

大きなお金が動くところにはハイエナのようにスポーツ関連貴族のような連中がつごめく。

子供たちの夢、若い選手たちの夢をぶち壊すような腐敗しきつた各スポーツ業界。

こんな薄汚れたスポーツ祭典のために選手たちは日頃から、身を粉にして練習しているのではない。

租税回避者一覽文書IIパナマ文書の中にはスポーツ業界の名だたる人物もいるのではないかと思われるほどだ。世の中はここまで腐敗してきたのかと情けなくなる。

何とかならないのか、額に汗して働いたものが報われない世の中では息が詰まるだけでなく、生きていく意味が見いだせなくなる。



「♪オリンピックの顔と顔〜♪」ある意味オリンピックの「顔」であるウサイン・ボルト選手(ジャマイカ)

選挙ダイジェスト

編集部

去る7月10日(日)参議院議員選挙、同じく31日(日)東京都知事選挙が行われました。両選挙とも60%に届きそうな投票率に達し、ようやく諦念に満ちた有権者たちの目が政治に向き始めたと言えるでしょう。

参議院議員選挙の争点は、野党が憲法改正阻止、与党がいわゆるアベノミクスと、はじめからかみ合いませんでした。結果、与党(自民公明)十こころおおさか維新で全参議院の議席の3分の2を確保はしたものの大勝して喜んでる様子が見られません。野党はアベノミクスに替わる経済政策を打ち出せば…というのはあったかもしれませんが。

東京選挙区では、自民2、民進2、公明1、共産1という結果になりました。痛み分けといったところでしょうか。

東京都知事選挙は、良くも悪くも小池、増田、鳥越の3氏を中心に展開され、争点は待機児童、保育所(園)と東京オリンピックでした。3氏の政策面に大きな差がないとなると、人気投票的な展開、またネガキャンの嵐。いい加減にしてほしいものです。

結果は、小池百合子氏が当選、以下、増田寛也氏、鳥越俊太郎氏、上杉隆氏、桜井誠氏が得票上位5人になります。選挙の結果は結果として、憲法改正して国民に義務だ義務だ言つ前に、自治体の首長として、また国会議員としての義務を果たしてもらいたいです。

次号予告

急遽、特集記事として、7月26日に相模原市津久井郡の「やまゆり園」で発生した事件について掲載します。その他、ポリシヨイサーカス、八王子まつり、医療観察法、オリンピック、時事政治、などいろいろ…本来の「ごった煮」的「ほっと」に戻りたいなと思っている今日このごろの編集部でした。

編集後記

▼「ほっと」の読者も2000越え、これもひとえに読者の皆様のおかげです。いつもご声援、ありがとうございます。
▼最近、「グローバル」なる言葉もよく耳にします。ほっとスペース八王子でも、フィリピンの方2名体制で昼食をつくつていたり、英会話教室をしていたりもしています。感謝にたえません。
▼将来的には、スタッフ有志によって、外国語版「ほっと」みたいなものもできたらいいなあとおちよつとだけ思ったり。
▼この国際化の時代、日本に対する注目はさらに集まっています。そこで、外国のみなさんが日本に興味を持つくらい、日本の皆さんも、世界に興味を持つてほしいと思います。(編集部)